

令和7年度 第1回赤穂市第1層協議体 開催報告

「高齢者のデジタル・デバイド～高齢者のパソコン・スマホの利活用について」をテーマに、有識者をはじめ各関係者にお集まりいただき、「第1回赤穂市第1層協議体」を開催しました。

今回は「なぜ高齢者はスマホ苦手意識があるのか」、「どのようなことがあればスマホ利用につながるのか」というテーマでグループディスカッションを行いました。

日時

・令和7年10月22日（水）13時30分～14時50分

場所

・総合福祉社会館3階集会兼運動指導室

内容

1. 生活支援体制整備事業と協議体について

2. 「高齢者のデジタル・デバイド」の概要説明

3. グループワーク

テーマ① 「なぜ高齢者はスマホ苦手意識があるのか」

テーマ② 「どのようなことがあればスマホ利用につながるのか」

グループワーク 意見交換結果

テーマ① 「なぜ高齢者はスマホ苦手意識があるのか」

テーマ② 「どのようなことがあればスマホ利用につながるのか」

	苦手意識	利用につなげるには
1グループ	<ul style="list-style-type: none">・働いている時(若い時)にスマホがなかった。・機能的に複雑。その辺りにハードルがある。・画面上だと情報が頭に入ってきにくい。 (紙で見る方が頭に入る)。・必要性を感じていない。困っていない。・詐欺が心配。情報管理が難しい。	<ul style="list-style-type: none">・出張のスマホ・パソコン教室の開催。・教室参加者へポイント制を導入。・災害時の活用法をみんなに伝える必要がある。・あつた方が便利であるため、必要性を啓発する。・A I の活用
2グループ	<ul style="list-style-type: none">・操作の難しさ、視力、危険性(A I より)・ID やパスワードでまずひっかかる(手間取る)ため諦める。	<ul style="list-style-type: none">・LINE だけは覚えてもらう。・デジタル、アプリは便利だという事を知ってもらう。・スマホより画面が大きい iPad やタブレットからだと導入しやすいのではないか。
3グループ	<ul style="list-style-type: none">・新しことを覚えることがストレス(横文字、文字が小さい、スクロール、タップ等)。・「騙されないか」という不安がある。	<ul style="list-style-type: none">・必要性(コミュニケーションツール、生活の質の向上、買い物・ネット通販、音声認識等)を感じてもらう。・誰かと一緒になど、困った時に教え合う関係性があれば良いのではないか。

